

主な変更点

「電気通信事業分野における競争状況の評価2006（案）」の主な変更点は以下のとおり。

なお、意見募集時に寄せられた意見、公開カンファレンスでの議論、競争評価アドバイザーボードにおける議論等を踏まえ種々の変更を行っているほか、表記の適正化を図っている。

1 意見募集結果を踏まえ、中継電話に関する市場シェアの分析を修正。

(第1章 固定電話領域)

原案では、マイライン・マイラインプラスの4区分（市内、県内市外、県外、国際）の中から「県外」を抽出し、便宜的にNTTコミュニケーションズのシェアをNTTグループのシェアとみなした上で、直収電話、CATV電話、OABJ-IP電話を含めた契約数による市場シェアを分析。意見募集結果等を踏まえ、当該4区分の通信量で加重平均したマイライン・マイラインプラスの事業者別契約数を算出し、これに直収電話、CATV電話、OABJ-IP電話を含めた契約数による市場シェアを分析する方法に見直した。

2 通信料金の推移に関し、データを補足。

(第1章 固定電話領域、第2章 移動体通信領域、第3章 インターネット接続領域、第4章 法人向けネットワークサービス領域)

固定電話、携帯電話、インターネット接続に関して消費者物価指数（総務省）によるデータを追加するとともに、法人向けネットワークサービスに関して企業向けサービス価格指数（日銀）によるデータを追加。

3 意見募集結果を踏まえ、変更が必要な部分の記述を修正（資料5参照）。

(第1章～第8章)

評価結果全般にわたり、事業者等から提出された意見のうち、変更が必要と認められる部分の記述を修正。

4 その他、表記の適正化等を適宜実施。

(第1章～第8章)

評価結果全般にわたり、表記の適正化やデータの修正等を軽微な範囲で適宜実施。